

博士課程教育リーディングプログラム 平成28年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
機関名	東京大学	全体責任者（学長）	五神 真
類型	複合領域型（情報）	プログラム責任者	石川 正俊
整理番号	K01	プログラムコーディネーター	國吉 康夫
プログラム名称	ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムでは、ビッグデータ、複雑システム、ヒューマンシステムの先端ICTを基軸とし、複数専門分野を統合して、社会の喫緊の課題を解決し、あるいは新たな価値をもたらす知識社会経済システムを創造的にデザインし、社会イノベーションを先導するトップリーダーとチームを育成することを目的とする。これに向けて、複数の専門と課題にまたがったオープンかつ統合的なシステムデザインの能力を、グローバルデザインワークショップ、社会イノベーションプロジェクト実践、密着多元評価により育成すると共に、その基盤を共通必修科目群、海外・国内インターンシップや「武者修行」、実践英語教育、各専門分野における専門基礎・実践力教育により強化する。学生指導には、対象とする複数専門分野および課題に対応した、学内9部局17専攻と国内外20以上の学外機関の専門家が協力する。

2. プログラムの進捗状況

平成28年度は本プログラムを本格展開しつつ教育のコンテンツと環境を維持、改良することを目的とした。コース生の募集は順調で、プログラム対象学生総数は110名となった。リーダーシップの涵養と本格的な成果の創出を促進するため、学生が企画する共同研究やプロジェクト活動を重点的に支援した。特に、学生の共同研究自主企画・要望に応じた共通実験装置導入や研究費支給、共同研究メンター配置などは学生からの評判もよく効果的であった。また、合宿、共通講義群、実践英語演習、グローバルデザインワークショップ（GDWS）、Techtalks、インターンシップ、プレゼンコンペ等、独自の教育コンテンツを前年度よりさらに改良しつつ実施し効果を挙げた。その結果コース生は、国際的な受賞（複数）、外部競争的資金獲得（複数）、国際プロジェクト立ち上げ、Todai To Texas 2017優勝とSXSW出展権獲得、など研究からベンチャー関連まで幅広い活動において特筆すべき成果を挙げ、本プログラムの趣旨を体現した強力な人材に育っている。